

<p>麻酔科専門医研修プログラム名</p>	<p>大阪大学医学部附属病院麻酔科専門医研修プログラム</p>	
<p>連絡先</p>	<p>TEL</p>	<p>06-6879-3133</p>
	<p>FAX</p>	<p>06-6879-3139</p>
	<p>e-mail</p>	<p>iritake@anes.med.osaka-u.ac.jp</p>
	<p>担当者名</p>	<p>いりたけにし たけし 入嵩西 毅</p>
<p>プログラム責任者 氏名</p>	<p>藤野 裕士</p>	
<p>研修プログラム 病院群</p> <p>*病院群に所属する全施設名をご記入ください。</p>	<p>責任基幹施設</p>	<p>大阪大学医学部附属病院</p>
	<p>基幹研修施設</p>	<p>国立病院機構大阪医療センター 国立病院機構大阪南医療センター 大阪警察病院 関西労災病院 大阪府済生会中津病院 大阪府済生会千里病院 市立豊中病院 大阪府立急性期・総合医療センター 大阪府立成人病センター 大阪府立母子保健総合医療センター 国立循環器病研究センター 大阪労災病院 国立成育医療研究センター</p>

	<p>関連研修施設</p>	<p>日生病院 大阪みなと中央病院 西宮市立中央病院 市立池田病院 箕面市立病院 愛染橋病院 大阪脳神経外科病院 心臓病センター榊原病院 N T T西日本大阪病院 大阪府立呼吸器アレルギー医療センター 多根総合病院 刀根山病院</p>
<p>プログラムの概要と特徴</p>	<p>責任基幹施設である大阪大学医学部附属病院（以下、阪大病院）をはじめ、後述する複数の基幹研修施設，関連研修施設によって構成される病院群において，専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し，十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医を育成する</p>	
<p>プログラムの運営方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 初年度は専攻医を採用した施設で研修を行う。 ● 研修内容・進行状況に配慮して，プログラムに所属する全ての専攻医が必要経験症例数を達成できるように，ローテーションを構築する。 	

1. プログラムの概要と特徴

責任基幹施設である大阪大学医学部附属病院（以下、阪大病院）をはじめ、後述する複数の基幹研修施設、関連研修施設によって構成される病院群において、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し、十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医を育成する。

2. プログラムの運営方針

- 初年度は専攻医を採用した施設で研修を行う。
- 研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が必要経験症例数を達成できるように、ローテーションを構築する。

3. 研修施設の指導体制と前年度麻酔科管理症例数

1) 責任基幹施設

大阪大学医学部附属病院（以下、阪大病院）

プログラム責任者：藤野裕士

指導医：藤野裕士（麻酔・集中治療）

萩平 哲（麻酔）

高階雅紀（麻酔）

柴田政彦（ペインクリニック）

上林卓彦（麻酔）

内山昭則（集中治療）

澁田達史（麻酔）

植田一吉（麻酔）

松田陽一（麻酔・ペインクリニック）

井口直也（集中治療）

井浦 晃（麻酔）

入嵩西毅（麻酔）

宇治満喜子（麻酔・集中治療）

専門医：大田典之（麻酔・集中治療）

柴田 晶カール（麻酔・集中治療）

高橋亜矢子（麻酔・ペインクリニック）

興津健太（麻酔）

平松大典（集中治療）

岩崎光生（麻醉）

植松弘進（麻醉・ペインクリニック）

今田竜之（麻醉）

麻醉科認定病院番号：49

麻醉科管理症例 6040症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	472症例	420症例
帝王切開術の麻醉	193症例	170症例
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	354症例	320症例
胸部外科手術の麻醉	315症例	280 症例
脳神経外科手術の麻醉	161症例	150症例

2) 基幹研修施設

国立病院機構大阪医療センター（以下、大阪医療センター）

研修実施責任者：岡田 俊樹

指導医：岡田俊樹（麻醉）

渋谷博美（麻醉）

天野栄三（麻醉）

専門医：牧野裕美（麻醉）

松田智明（麻醉）

伊藤千明（麻醉）

麻醉科認定病院番号：584

麻醉科管理症例 3342 症例

	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	50 症例	21 症例
帝王切開術の麻醉	8 症例	4 症例
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	79 症例	38 症例
胸部外科手術の麻醉	93 症例	50 症例

脳神経外科手術の麻酔	170 症例	83 症例

独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター（以下、大阪南医療センター）

研修実施責任者：林 英明

指導医：林 英明（麻酔）

竹田 清（麻酔）

赤松 哲也（麻酔）

太田 権守（麻酔）

宮尾 章士（麻酔）

麻酔科認定病院番号： 544

麻酔科管理症例 1914 症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0 症例	0 症例
帝王切開の麻酔	99 症例	20 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	67 症例	15 症例
胸部外科手術の麻酔	3 症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	47 症例	10 症例

大阪警察病院

研修実施責任者：北 貴志

指導医：北 貴志（麻酔）

谷口 洋（麻酔）

清水 智明（麻酔）

井上 潤一（麻酔、ペイン）

専門医：荒井 章臣（麻酔）

上田 篤史（麻酔）

木下 智恵（麻酔）

林 峰子（麻酔）

麻酔科認定病院番号： 295

麻酔科管理症例 4,415症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	23症例	15症例
帝王切開の麻酔	70症例	50症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	142症例	100症例
胸部外科手術の麻酔	158症例	100 症例
脳神経外科手術の麻酔	222症例	150症例

関西労災病院

研修実施責任者：上山博史

指導医：上山博史（麻酔，集中治療）

専門医：山中寛男（麻酔）

馬渡圭子（麻酔）

平田絵美（麻酔）

甲 俊迪（麻酔）

麻酔科認定病院番号： 327

麻酔科管理症例 4300症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	30症例	15症例
帝王切開の麻酔	85症例	40症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	75症例	40症例
胸部外科手術の麻酔	125症例	60 症例
脳神経外科手術の麻酔	235症例	80症例

済生会中津病院（以下中津病院）

研修実施責任者：岩倉健夫

指導医：岩倉健夫（麻酔）

専門医：徳永千春（麻酔）

小寺智子（麻醉）

潮田梓（麻醉）

田村岳士（麻醉）

麻醉科認定病院番号： 311

麻醉科管理症例 2800症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	32症例	20症例
帝王切開の麻醉	30症例	30症例
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	54症例	40症例
胸部外科手術の麻醉	109症例	60 症例
脳神経外科手術の麻醉	46症例	30症例

大阪府済生会千里病院

研修実施責任者：内田 整

指導医：内田 整（麻醉）

遠藤 健（麻醉）

専門医：井口容子（麻醉）

麻醉科認定病院番号： 1082

麻醉科管理症例 1,600症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	15 症例	5 症例
帝王切開の麻醉	45 症例	10 症例
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	0 症例	0 症例
胸部外科手術の麻醉	5 症例	0 症例
脳神経外科手術の麻醉	5 症例	0 症例

市立豊中病院（以下、豊中病院）

研修実施責任者：高田幸治

指導医：高田幸治（麻醉，集中治療）

西田朋代（麻酔、集中治療）

香河清和（麻酔、集中治療）

専門医：二宮万理江（麻酔、ペインクリニック）

山本泰史（麻酔、集中治療）

松本充弘（麻酔）

麻酔科認定病院番号： 352

麻酔科管理症例 2,510症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	142症例	40症例
帝王切開の麻酔	33症例	10症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	98症例	30症例
脳神経外科手術の麻酔	68症例	20症例

大阪府立急性期・総合医療センター

研修実施責任者：西村信哉

指導医：西村信哉（麻酔、集中治療）

稲森紀子（麻酔）

山下健次（麻酔）

森隆比古（麻酔、集中治療）

専門医：平尾 収（麻酔、集中治療）

東名里恵（麻酔）

田中成和（麻酔）

麻酔科認定番号70

麻酔科管理症例 4,667症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	80症例	30症例
帝王切開の麻酔	92症例	30症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	161症例	75症例

胸部外科手術の麻酔	141症例	75 症例
脳神経外科手術の麻酔	192症例	75症例

大阪府立成人病センター

研修実施責任者：谷上博信

指導医：谷上博信（麻酔，集中治療）

大川 恵（麻酔，集中治療）

飯田裕司（麻酔，集中治療）

藤田泰宣（麻酔，集中治療）

大橋祥文（麻酔，集中治療）

園田俊二（麻酔，集中治療）

日生下由紀（麻酔，集中治療）

専門医：萬代裕子（麻酔，集中治療）

藤井尚子（麻酔、集中治療）

麻酔科認定病院番号： 187

麻酔科管理症例 2,660症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0 症例	0 症例
帝王切開の麻酔	0 症例	0 症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	12症例	8症例
胸部外科手術の麻酔	335症例	150 症例
脳神経外科手術の麻酔	63症例	40症例

大阪府立母子保健総合医療センター（以下，母子センター）

研修実施責任者：谷口晃啓

指導医：谷口晃啓（麻酔）

木内恵子（麻酔）

小野理恵（麻酔）

竹内宗之（集中治療）

橋 一也 (集中治療)

専門医：なし

麻酔科認定病院番号： 260

麻酔科管理症例 4,170症例

	全症例	本プログラム分
小児 (6歳未満) の麻酔	2,194症例	1,600症例
帝王切開の麻酔	509症例	300症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	200症例	150症例
胸部外科手術の麻酔	30症例	20 症例
脳神経外科手術の麻酔	111症例	70症例

国立循環器病研究センター

研修実施責任者：大西佳彦

指導医：大西佳彦 (麻酔)

亀井政孝 (麻酔)

吉谷健司 (麻酔)

専門医：三宅絵里 (麻酔)

加藤真也 (麻酔)

麻酔科認定病院番号： 168

麻酔科管理症例 2419症例

	全症例	本プログラム分
小児 (6歳未満) の麻酔	241症例	24症例
帝王切開の麻酔	105症例	10症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	1140症例	110症例
胸部外科手術の麻酔	0症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	429症例	42症例

大阪労災病院

研修実施責任者：寺井岳三

指導医：寺井岳三（麻醉）
 宮田嘉久（麻醉）
 中本達夫（麻醉，神経ブロック，ペインクリニック，緩和）
 水谷 光（麻醉）
 松浦康司（麻醉）
 藤井 崇（麻醉，心臓血管麻醉）
 山下 淳（麻醉，心臓血管麻醉）
 高橋佳代子（麻醉）

専門医：旭爪章統（麻醉）
 横川直美（麻醉，神経ブロック）

麻醉科認定病院番号： 197

麻醉科管理症例 4,253症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	26症例	13症例
帝王切開の麻醉	33症例	17症例
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	94症例	47症例
胸部外科手術の麻醉	5症例	3 症例
脳神経外科手術の麻醉	66症例	33症例

国立成育医療研究センター

研修実施責任者：鈴木康之

指導医：鈴木康之（麻醉・集中治療）

田村高子（麻醉）
 糟谷周吾（麻醉）
 近藤陽一（麻醉）

専門医：小暮泰大（麻醉）

大杉浩一（麻醉）
 稲村ルイ（麻醉）
 遠山悟史（麻醉）

麻醉科認定病院番号： 87

麻酔科管理症例 5,086症例

	全症例(年間)	本プログラム分(年間)
小児(6歳未満)の麻酔	2724	200
帝王切開の麻酔	649	20
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	240	20
胸部外科手術の麻酔	64	5
脳神経外科手術の麻酔	193	10

3) 関連研修施設

日本生命済生会附属日生病院(以下,日生病院)

研修実施責任者:川原玲子

指導医:川原玲子(麻酔・緩和医療科)

花田留美(麻酔・緩和医療科)

奥野聡子(麻酔・緩和医療科)

山崎恭子(麻酔・緩和医療科)

麻酔科認定病院番号: 569

麻酔科管理症例 1487症例

	全症例	本プログラム分
小児(6歳未満)の麻酔	6症例	6症例
帝王切開の麻酔	3症例	3症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	1症例	1症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例	0症例

大阪みなと中央病院

研修実施責任者:久利通興

指導医:久利通興(麻酔)

専門医:山本万里子(麻酔)

麻酔科認定病院番号： 695

麻酔科管理症例1,184症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	45症例	15症例
帝王切開の麻酔	0症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	0症例	0症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例	0症例

西宮市立中央病院 麻酔科・ペインクリニック科

研修実施責任者：前田倫

指導医：前田倫（日本麻酔科学会）

（日本ペインクリニック学会専門医、日本緩和医療学会暫定指導医

日本頭痛学会認定専門医）

松村陽子（日本麻酔科学会）（日本ペインクリニック学会専門医）

中村武人（日本麻酔科学会）

（日本心臓血管麻酔学会暫定専門医

日本癌治療学会専門医）

専門医：若山寛（日本麻酔科学会専門医）

麻酔科認定病院番号： 571

麻酔科管理症例 668症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	6症例	0症例
帝王切開の麻酔	0症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	79症例	0症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例	0症例

市立池田病院

研修実施責任者：小野まゆ

指導医：小野まゆ（麻酔，ペイン）

西島 薫（麻酔）

専門医：森 梓（麻酔）

金 史信（麻酔）

滝本佳予（麻酔）

神崎由莉（麻酔）

麻酔科認定病院番号： 841

麻酔科管理症例 1646症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	50症例	20症例
帝王切開の麻酔	5症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	0症例	0症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例	0症例

箕面市立病院

研修実施責任者：数見 健一郎

指導医：人見 一彰（麻酔）

有村 佳修（麻酔）

西原 留奈（麻酔）

専門医：石井 努（麻酔）

数見 健一郎（麻酔）

大西 佳恵（麻酔）

麻酔科認定病院番号： 368

麻酔科管理症例 2,105症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	32症例	16症例

帝王切開の麻酔	37症例	15症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	90症例	40 症例
脳神経外科手術の麻酔	1症例	0症例

社会福祉法人石井記念愛染園付属愛染橋病院 (以下、愛染橋病院)

研修実施責任者：福光一夫

指導医：福光一夫 (麻酔, 集中治療)

麻酔科認定病院番号： 1126

麻酔科管理症例 840症例

	全症例	本プログラム分
小児 (6歳未満) の麻酔	100症例	30症例
帝王切開の麻酔	229症例	60症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	7症例	2症例
胸部外科手術の麻酔	1症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	1症例	0症例

公益財団法人 唐澤記念会 大阪脳神経外科病院 (以下、大阪脳神経外科病院)

研修実施責任者：川口 哲

専門医： 川口 哲 (麻酔科)

麻酔科認定病院番号： 1092

麻酔科管理症例 410症例

	全症例	本プログラム分
小児 (6歳未満) の麻酔	0症例	0症例
帝王切開の麻酔	0症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	0症例	0 症例

脳神経外科手術の麻酔	410症例	150症例
------------	-------	-------

社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院（以下、榊原病院）

研修実施責任者：石井智子

指導医：石井智子（麻酔）

専門医：黒田浩佐（麻酔）

麻酔科認定病院番号： 1142

麻酔科管理症例 929症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0症例	0症例
帝王切開術の麻酔	0症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	636症例	530症例
胸部外科手術の麻酔	37症例	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例	0症例

NTT西日本大阪病院

研修実施責任者：瀬川 良雄

指導医：瀬川 良雄（麻酔）

専門医：玉垣 伸二（麻酔）

麻酔科認定病院番号： 396

麻酔科管理症例 1,061症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1症例	1症例
帝王切開の麻酔	0症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	10症例	10 症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例	0症例

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター

研修実施責任者：高内裕司

指導医：高内裕司（麻酔，集中治療）

専門医：酒井規広（麻酔）

麻酔科認定病院番号： 164

麻酔科管理症例 673症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0症例	0症例
帝王切開の麻酔	10症例	10症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	310症例	70 症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例	0症例

（2013 年実績） 注：帝王切開症例は現在主に自家麻酔で行っているが、プログラム必要分を一部取り込むことは可能。

社会医療法人きつこう会多根総合病院（以下，多根総合病院）

研修実施責任者：棚橋識生

指導医：棚橋識生（麻酔）

専門医：坂口 豪（麻酔）

三馬 葵（麻酔）

麻酔科認定病院番号： 740

麻酔科管理症例 3,111症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	31症例	20症例
帝王切開の麻酔	0症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	16症例	10 症例
脳神経外科手術の麻酔	187症例	90症例

独立行政法人 国立病院機構 刀根山病院（以下、刀根山病院）

研修実施責任者：松原陽子

指導医：松原陽子（麻酔、呼吸器緩和ケア）

松岡由里子（麻酔、呼吸器緩和ケア）

専門医：松田千栄（麻酔、呼吸器緩和ケア）

麻酔科認定病院番号： 816

麻酔科管理症例 427症例

	全症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0症例	0症例
帝王切開の麻酔	0症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0症例	0症例
胸部外科手術の麻酔	234症例	120 症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例	0症例

本プログラムにおける前年度症例合計

麻酔科管理症例：64718症例

	合計症例数
小児（6歳未満）の麻酔	6887症例
帝王切開術の麻酔	2230症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	3207症例
胸部外科手術の麻酔	2214 症例
脳神経外科手術の麻酔	2672症例

4. 募集定員

38名

5. プログラム責任者 問い合わせ先

プログラム責任者：大阪大学大学院 医学系研究科 麻酔集中治療医学教室

教授 藤野裕士

問い合わせ先：大阪大学大学院 医学系研究科 麻酔集中治療医学教室

助教 入嵩西毅 (いりたけにし たけし)

大阪府吹田市山田丘2-2

TEL番号 06-6879-3133

FAX番号 06-6879-3139

E-MAIL iritake@anes.med.osaka-u.ac.jp

6. 本プログラムの研修カリキュラム到達目標

①一般目標

安全かつ安心な周術期医療の提供といった国民のニーズに応えることのできる、麻酔科およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。具体的には下記の4つの資質を修得する。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技量
- 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学を則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心

②個別目標

目標1 基本知識

麻酔科診療に必要な下記知識を習得し、臨床応用できる。具体的には公益法人日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の学習ガイドラインに準拠する。

1) 総論：

- a) 麻酔科医の役割と社会的な意義、医学や麻酔の歴史について理解している。
- b) 麻酔の安全と質の向上：麻酔の合併症発生率、リスクの種類、安全指針、医療の質向上に向けた活動などについて理解している。手術室の安全管理、環境整備について理解し、実践できる。

2) 生理学：下記の臓器の生理・病態生理、機能、評価・検査、麻酔の影響などについて理解している。

- a) 自律神経系
- b) 中枢神経系

- c) 神経筋接合部
- d) 呼吸
- e) 循環
- f) 肝臓
- g) 腎臓
- h) 酸塩基平衡, 電解質
- i) 栄養

3) 薬理学: 薬力学, 薬物動態を理解している. 特に下記の麻酔関連薬物について作用機序, 代謝, 臨床上の効用と影響について理解している.

- a) 吸入麻酔薬
- b) 静脈麻酔薬
- c) オピオイド
- d) 筋弛緩薬
- e) 局所麻酔薬

4) 麻酔管理総論: 麻酔に必要な知識を持ち, 実践できる

- a) 術前評価: 麻酔のリスクを増す患者因子の評価, 術前に必要な検査, 術前に行うべき合併症対策について理解している.
- b) 麻酔器, モニター: 麻酔器・麻酔回路の構造, 点検方法, トラブルシューティング, モニター機器の原理, 適応, モニターによる生体機能の評価, について理解し, 実践ができる.
- c) 気道管理: 気道の解剖, 評価, 様々な気道管理の方法, 困難症例への対応などを理解し, 実践できる.
- d) 輸液・輸血療法: 種類, 適応, 保存, 合併症, 緊急時対応などについて理解し, 実践ができる.
- e) 脊髄くも膜下麻酔, 硬膜外麻酔: 適応, 禁忌, 関連する部所の解剖, 手順, 作用機序, 合併症について理解し, 実践ができる
- f) 神経ブロック: 適応, 禁忌, 関連する部所の解剖, 手順, 作用機序, 合併症について理解し, 実践ができる.

5) 麻酔管理各論: 下記の様々な科の手術に対する麻酔方法について, それぞれの特性と留意すべきことを理解し, 実践ができる.

- a) 腹部外科
- b) 腹腔鏡下手術
- c) 胸部外科

- d) 成人心臓手術
- e) 血管外科
- f) 小児外科
- g) 小児心臓外科
- h) 高齢者の手術
- i) 脳神経外科
- j) 整形外科
- k) 外傷患者
- l) 泌尿器科
- m) 産婦人科
- n) 眼科
- o) 耳鼻咽喉科
- p) レーザー手術
- q) 口腔外科
- r) 臓器移植
- s) 手術室以外での麻酔

6) 術後管理：術後回復とその評価，術後の合併症とその対応に関して理解し，実践できる。

7) 集中治療：成人・小児の集中治療を要する疾患の診断と集中治療について理解し，実践できる。

8) 救急医療：救急医療の代表的な病態とその評価，治療について理解し，実践できる。それぞれの患者にあった蘇生法を理解し，実践できる。AHA-ACLS，またはAHA-PALSプロバイダーコースを受講し，プロバイダーカードを取得している。

9) ペイン：周術期の急性痛・慢性痛の機序，治療について理解し，実践できる。

目標2 診療技術

麻酔科診療に必要な下記基本手技に習熟し，臨床応用できる。具体的には日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の基本手技ガイドラインに準拠する。

1) 基本手技ガイドラインにある下記それぞれの基本手技について，定められたコース目標に到達している。

- a) 血管確保・血液採取
- b) 気道管理

- c) モニタリング
- d) 治療手技
- e) 心肺蘇生法
- f) 麻酔器点検および使用
- g) 脊髄くも膜下麻酔
- h) 鎮痛法および鎮静薬
- i) 感染予防

目標3 マネジメント

麻酔科専門医として必要な臨床現場での役割を実践することで、患者の命を助けることができる。

- 1) 周術期などの予期せぬ緊急事象に対して、適切に対処できる技術、判断能力を持っている。
- 2) 医療チームのリーダーとして、他科の医師、他職種を巻き込み、統率力をもって、周術期の刻々と変化する事象に対応をすることができる。

目標4 医療倫理, 医療安全

医師として診療を行う上で、医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身につける。医療安全についての理解を深める。

- 1) 指導担当する医師とともにon the job training環境の中で、協調して麻酔科診療を行うことができる。
- 2) 他科の医師、コメディカルなどと協力・協働して、チーム医療を実践することができる。
- 3) 麻酔科診療において、適切な態度で患者に接し、麻酔方法や周術期合併症をわかりやすく説明し、インフォームドコンセントを得ることができる。
- 4) 初期研修医や他の医師、コメディカル、実習中の学生などに対し、適切な態度で接しながら、麻酔科診療の教育をすることができる。

目標5 生涯教育

医療・医学の進歩に則して、生涯を通じて自己の能力を研鑽する向上心を醸成する。

- 1) 学習ガイドラインの中の麻酔における研究計画と統計学の項目に準拠して、EBM, 統計, 研究計画などについて理解している。
- 2) 院内のカンファレンスや抄読会, 外部のセミナーやカンファレンスなどに出席し,

積極的に討論に参加できる。

3) 学術集会や学術出版物に、症例報告や研究成果の発表をすることができる。

4) 臨床上の疑問に関して、指導医に尋ねることはもとより、自ら文献・資料などを用いて問題解決を行うことができる。

③経験目標

研修期間中に手術麻酔，集中治療，ペインの十分な臨床経験を積む。通常の全身麻酔・硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔・神経ブロックの症例経験に加え，下記の所定の件数の特殊麻酔を担当医として経験する。ただし，帝王切開手術，胸部外科手術，脳神経外科手術に関しては，一症例の担当医は1人，小児と心臓血管手術については一症例の担当医は2人までとする。

- | | |
|----------------------------|------|
| ・小児（6歳未満）の麻酔 | 25症例 |
| ・帝王切開術の麻酔 | 10症例 |
| ・心臓血管外科の麻酔
（胸部大動脈手術を含む） | 25症例 |
| ・胸部外科手術の麻酔 | 25症例 |
| ・脳神経外科手術の麻酔 | 25症例 |

7. 各施設における到達目標と評価項目

各施設における研修カリキュラムに沿って，各参加施設において，それぞれの専攻医に対し年次毎の指導を行い，その結果を目標評価表を用いて到達目標の達成度を評価する。

大阪大学医学部附属病院（責任基幹施設）

研修カリキュラム到達目標

①一般目標

安全で質の高い周術期医療を提供し国民の健康と福祉の増進に寄与することのできる、麻酔科およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。具体的には下記の4つの資質を修得する。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技量
- 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力，問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し，診療を行う上での適切な態度，習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学を則して，生涯を通じて研鑽を継続する向上心

②個別目標

目標1（基本知識）麻酔科診療に必要な下記知識を習得し，臨床応用できる。具体的には公益法人日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の学習ガイドラインに準拠する。

- 1) 総論：
 - a) 麻酔科医の役割と社会的な意義，医学や麻酔の歴史について理解している。
 - b) 麻酔の安全と質の向上：麻酔の合併症発生率，リスクの種類，安全指針，医療の質向上に向けた活動などについて理解している。手術室の安全管理，環境整備について理解し，実践できる。
- 2) 生理学：下記の臓器の生理・病態生理，機能，評価・検査，麻酔の影響などについて理解している。
 - a) 自律神経系
 - b) 中枢神経系
 - c) 神経筋接合部
 - d) 呼吸
 - e) 循環
 - f) 肝臓
 - g) 腎臓
 - h) 酸塩基平衡，電解質
 - i) 栄養
- 3) 薬理学：薬力学，薬物動態を理解している。特に下記の麻酔関連薬物について作用

機序，代謝，臨床上の効用と影響について理解している。

- a) 吸入麻酔薬
- b) 静脈麻酔薬
- c) オピオイド
- d) 筋弛緩薬
- e) 局所麻酔薬

4) 麻酔管理総論：麻酔に必要な知識を持ち，実践できる

- a) 術前評価：麻酔のリスクを増す患者因子の評価，術前に必要な検査，術前に行うべき合併症対策について理解している。
- b) 麻酔器，モニター：麻酔器・麻酔回路の構造，点検方法，トラブルシューティング，モニター機器の原理，適応，モニターによる生体機能の評価，について理解し，実践ができる。
- c) 気道管理：気道の解剖，評価，様々な気道管理の方法，困難症例への対応などを理解し，実践できる。
- d) 輸液・輸血療法：種類，適応，保存，合併症，緊急時対応などについて理解し，実践ができる。
- e) 脊髄くも膜下麻酔，硬膜外麻酔：適応，禁忌，関連する部所の解剖，手順，作用機序，合併症について理解し，実践ができる
- f) 神経ブロック：適応，禁忌，関連する部所の解剖，手順，作用機序，合併症について理解し，実践ができる。

5) 麻酔管理各論：下記の様々な科の手術に対する麻酔方法について，それぞれの特性と留意すべきことを理解し，実践ができる。

- a) 腹部外科
- b) 腹腔鏡下手術
- c) 胸部外科
- d) 心臓血管手術
 - 1. 成人心臓手術
 - 2. 小児心臓手術
 - 3. 大血管手術（人工血管置換術）
 - 4. 血管内手術（ステントグラフト・TAVI）
- e) 小児外科
- f) 高齢者の手術
- g) 脳神経外科

- h) 整形外科
- i) 泌尿器科
- j) 産婦人科
- k) 眼科
- l) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- m) 形成外科
- n) レーザー手術
- o) 臓器移植
 - 1. 生体間移植
 - 2. 脳死移植
- p) 手術室以外での麻酔

6) 術後管理：術後回復とその評価，術後の合併症とその対応に関して理解し，実践できる。

7) 集中治療：成人・小児の集中治療を要する疾患の診断と集中治療について理解し，実践できる。

8) 救急医療：救急医療の代表的な病態とその評価，治療について理解し，実践できる。それぞれの患者にあった蘇生法を理解し，実践できる。AHA-ACLS，またはAHA-PALSプロバイダーコースを受講し，プロバイダーカードを取得している。

9) ペイン：周術期の急性痛・慢性痛の機序，治療について理解し，実践できる。

目標2（診療技術）麻酔科診療に必要な下記基本手技に習熟し，臨床応用できる。具体的には日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の基本手技ガイドラインに準拠する。

1) 基本手技ガイドラインにある下記のそれぞれの基本手技について，定められたコース目標に到達している。

- a) 血管確保・血液採取
- b) 気道管理
- c) モニタリング
- d) 治療手技
- e) 心肺蘇生法
- f) 麻酔器点検および使用
- g) 脊髄くも膜下麻酔
- h) 鎮痛法および鎮静薬

i) 感染予防

目標 3 (マネジメント) 麻酔科専門医として必要な臨床現場での役割を実践することで、患者の命を助けることができる。

- 1) 周術期などの予期せぬ緊急事象に対して、適切に対処できる技術、判断能力を持っている。
- 2) 医療チームのリーダーとして、他科の医師、他職種を巻き込み、統率力をもって、周術期の刻々と変化する事象に対応をすることができる。

目標 4 (医療倫理, 医療安全) 医師として診療を行う上で、医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身につける。医療安全についての理解を深める。

- 1) 指導担当する医師とともに臨床研修環境の中で、協調して麻酔科診療を行うことができる。
- 2) 他科の医師、コメディカルなどと協力・協働して、チーム医療を実践することができる。
- 3) 麻酔科診療において、適切な態度で患者に接し、麻酔方法や周術期合併症をわかりやすく説明し、インフォームドコンセントを得ることができる。
- 4) 初期研修医や他の医師、コメディカル、実習中の学生などに対し、適切な態度で接しながら、麻酔科診療の教育をすることができる。

目標 5 (生涯教育) 医療・医学の進歩に則して、生涯を通じて自己の能力を研鑽する向上心を醸成する。

- 1) 学習ガイドラインの中の麻酔における研究計画と統計学の項目に準拠して、EBM, 統計, 研究計画などについて理解している。
- 2) 院内のカンファレンスや抄読会, 外部のセミナーやカンファレンスなどに出席し, 積極的に討論に参加できる。
- 3) 学術集会や学術出版物に, 症例報告や研究成果の発表をすることができる。
- 4) 臨床上の疑問に関して, 指導医に尋ねることはもとより, 自ら文献・資料などを用いて問題解決を行うことができる。

③経験目標

研修期間中に手術麻酔, 集中治療, ペインクリニックの十分な臨床経験を積む。通常の全身麻酔・硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔・神経ブロックの症例経験に加え, 下記の特

殊麻酔を担当医として経験する.

- ・小児（6歳未満）の麻酔
- ・帝王切開術の麻酔
- ・心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）
- ・胸部外科手術の麻酔
- ・脳神経外科手術の麻酔